

VMware vRealize Operations for Power

概要

VMware vRealize® Operations™ for Power は、プライベート クラウド、パブリッククラウド、ハイブリッド クラウドにわたって、アプリケーションからインフラストラクチャまで統合管理するための包括的なデータセンター運用管理プラットフォームです。パフォーマンス、キャパシティ、コストをインテントベースで最適化するだけでなく、プロアクティブなプランニングとインテリジェントな修正も可能です。

主なメリット

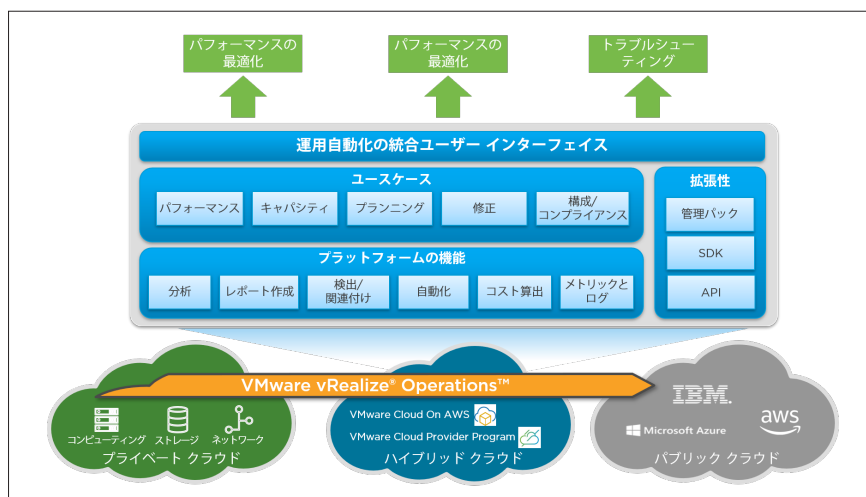
- データセンターとマルチクラウド環境の統合管理
- リアルタイムのキャパシティ予測分析により、キャパシティ リスクをプロアクティブに察知し、将来の需要を予測して実行可能な推奨事項を提供
- コストに関する情報とキャパシティ分析を統合して、使用率の最適化とコスト削減を実現
- プライベート クラウドとパブリック クラウドにわたるコストの可視化により、プランニングを最適化
- メトリックとログを使用した、あらゆる側面からのトラブルシューティング
- 完全にオープンで拡張可能なプラットフォーム

運用の自動化製品の概要

VMware vRealize Operations for Power は、スケーラビリティと耐障害性を備えた拡張可能なオープン プラットフォームで、IT 管理者による大規模で複雑な、異種混在のハイブリッド環境の本番運用を支援します。

リアルタイムの予測分析機能により、パフォーマンス¹、キャパシティ、コストが最適化され、競合やキャパシティ リスクのプロアクティブな回避、コスト削減の可能性の特定、最適なサイズ設定と再利用の自動化、迅速なプランニングが可能です。

また、スケーラビリティに優れ直感的に操作でき、包括的な視認性、統合ビュー、管理パック²による拡張性を備えているため、プライベート クラウドや複数のクラウドにわたる、問題の予測、回避、トラブルシューティングを行うことができます。



物理、仮想、クラウド インフラストラクチャにおける運用の自動化

vRealize Operations for Power がもたらすメリット

効率性の向上：IT 部門の効率性と IT リソースの使用率を高め、運用コストと設備投資コストの両方を削減できます。

ダウンタイムの短縮：予測分析機能によって、発生しつつあるパフォーマンス上の問題やボトルネックをプロアクティブに特定、解決できるため、最適なパフォーマンスと可用性を確保できます。

包括的な視認性：プライベート クラウドとパブリック クラウドにわたって、アプリケーションからインフラストラクチャまで単一プラットフォームで包括的に可視化されるため、運用を効率的に集中管理できます。

ビジネスと IT の連携：IT サービスの運用とコストの関連性を明確にし、IT とビジネスの連携を強化できます。

¹一部の機能は vSphere ベースのクラウドでのみ利用できます。

²以降のページに、Power Systems 向けのすべての管理パックのリストが掲載されています。

vRealize Operations for Power : バンドル	Small	Medium
vRealize Operations for Power : エディション	Standard	Advanced
ライセンス	コア単位	コア単位
運用プラットフォームのスケールアウト	○	○
シングルサインオン	○	○
リモートコレクター	○	○
可視化：詳細設定なしですぐに使えるダッシュボード、ビュー、レポート、ヒートマップ、パフォーマンスチャート	○	○
パフォーマンスの監視と分析	○	○
vSphere® のセキュリティとコンプライアンス	○	○
トレンド分析、測定、適切なサイジング、最適化を含む、リアルタイムのキャパシティ予測管理	○	○
データセンター全体のコストを管理するビュー	○	○
プライベートクラウドと VMware Cloud™ on AWS に仮想マシンを追加する場合の What-if シナリオ (Standard Edition ではコスト算出なし)	○	○
ビジネスの目的に基づいた手動でのワークロード最適化 ³	○	○
Predictive DRS と DRS の管理 ³	○	○
ガイド付きの修正機能	○	○
vRealize Log Insight™ との連携	○	○
vSAN™ の概要と移行ダッシュボード ⁴	○	○
ビジネスの目的に基づいたワークロード バランシングの自動化とスケジューリング ³	○	○
サービスの検出とアプリケーションの依存関係のマッピング	○	○
IBM HMC 管理パック	○	○
IBM PowerVCTM 管理パック	○	○
サードパーティ製インフラストラクチャ管理パック：ストレージ、ネットワーク、コンバージド/ハイパーコンバージド、vSphere 以外のハイパーバイザー	○	○
マルチクラウドおよびコンテナ監視管理パック：AWS、Azure、OpenStack、Kubernetes	○	○
組み込みの高可用性機能（プラットフォームノードの自動フェイルオーバー）		○
カスタマイズ可能なダッシュボード、レポート、ビュー		○
スーパーメトリック		○
高度な API：リソース/データの追加、レポートの生成など		○
再利用やプランニング、パブリッククラウドのコストの比較に役立つきめ細やかなコスト分析		○
ハードウェアを調達する場合や、VMware Cloud on AWS または AWS への移行を計画する場合の追加の What-if シナリオ		○
自動化アクション（エンドユーザー使用許諾契約書で制限）		○
vSAN のトラブルシューティングとキャパシティ管理 ⁴		○
Software-Defined Data Center (SDDC) 健全性管理パック ⁴		○
vRealize Orchestrator™ Management Pack		○
OS リソース（CPU、ディスク、メモリ、ネットワーク）の監視		○

³ vSphere 環境のみ。

⁴ VMware vSAN およびその他の SDDC テクノロジーが導入されている場合のみ。

Blue Medora が提供する IBM Power Systems 向け vRealize Operations 管理パック
AIX® エージェント
SUSE Linux エージェント
Red Hat Enterprise Linux エージェント
Dell EMC VNX 管理/パック
Dell EMC XtremIO 管理/パック
Dell EMC VMAX 管理/パック
NetApp 管理/パック
NetApp E-Series 管理/パック
Pure Storage FlashArray 管理/パック
HPE Nimble Storage 管理/パック
Cisco Networking 管理/パック
Lenovo Network 管理/パック
Citrix NetScaler 管理/パック
F5 BIG-IP 管理/パック
Nutanix 管理/パック
KVM 管理/パック
Pivotal Cloud Foundry 管理/パック
Xen Hypervisor 管理/パック
HPE 3PAR StoreServ 管理/パック
SAP HANA 管理/パック
Oracle Database 管理/パック
IBM DB2® 管理/パック
IBM SVC 管理/パック

運用の自動化	
vRealize Operations に関連する一般的な用語	
可視化：健全性マップ、パフォーマンス チャート など	可視化のためのウィジェットや、迅速なトラブルシューティングと対応が可能なワークフローなど、詳細設定なしで使用できるさまざまなダッシュボードが用意されています。
ポリシー管理	ビジネス ニーズに応じて環境を個別に管理でき、本番環境、ステージング環境、テスト環境にそれぞれ異なる設定 / 構成を使用できます (クラスタなど)。
パフォーマンスの監視と分析	アラートやインテリジェントな分析機能を詳細設定なしで利用できます。
キャパシティ管理	リアルタイムの予測分析機能により、CPU、メモリ、ディスクの使用状況を可視化し、残り時間やキャパシティの残容量を推定できます。組み込みのコスト分析機能により、その時点での総所有コストとコスト削減の可能性を見極めることができるほか、アイドル状態の仮想マシン、スナップショット、パワーオフ状態の仮想マシンなど、未使用キャパシティを再利用するための処置をとることができます。仮想マシンを拡大または縮小して適切なサイズにすることで、パフォーマンス確保やコスト削減を図ることも可能です。また、What-if プランニング シナリオを作成して、仮想マシンの新規追加、ハードウェアの購入、AWS や VMware Cloud on AWS などのパブリック クラウドへのワークロードの移行をモデル化できます。
組み込みの高可用性機能 (プラットフォーム ノードの自動フェイルオーバー)	高可用性機能は、vRealize Operations Manager™ のマスター ノードのレプリカを作成し、ノードが失われないように分析クラスタを保護します。
カスタマイズ可能なダッシュボード、レポート、ビュー	vRealize Operations Manager ですべてのオブジェクトの状態を確認するには、ウィジェットを追加してダッシュボードを作成します。ダッシュボードは、作成と変更、環境のニーズに応じた設定が可能です。 vRealize Operations Manager のレポート機能で生成するレポートでは、現在のリソースニーズと予測されるリソース ニーズの詳細を収集できます。また、将来のニーズとオフラインのニーズについて、PDF や CSV のファイル形式でレポートをダウンロードできます。
サードパーティ製管理パック：ストレージ、ネットワーク、コンバージド/ハイパーコンバージド、vSphere 以外のハイパーバイザー	VMware やサードパーティ製のオプション ソリューションをインストールすることで、vRealize Operations Manager の監視機能を拡張できます。 VMware のソリューションとして、ストレージ デバイス、Log Insight、NSX® for vSphere、ネットワーク デバイス、vRealize Configuration Manager™ 用のアダプターをご用意しており、サードパーティ製ソリューションは、AWS、SCOM、EMC Smarts など、多数提供されています。オプション ソリューションのソフトウェアやドキュメントをダウンロードするには、VMware Solution Exchange (https://marketplace.vmware.com/vsx/) にアクセスしてください。
マルチクラウド監視パック：AWS、VMware Integrated OpenStack、VMware Cloud Provider™ Program のパートナー	(上記参照)
スーパー メトリック	スーパー メトリックとは、1つ以上のメトリックを含む数式です。カスタム メトリックとして、単一オブジェクトまたは複数オブジェクトのメトリックの組み合わせを追跡する場合に設計します。1つのメトリックでは環境の動作について十分な情報が得られない場合にスーパー メトリックを定義できます。
OS リソース (CPU、ディスク、メモリ、ネットワーク) の監視	Endpoint Operations Management を設定してオペレーティング システムのメトリックを収集し、リモートのプラットフォームとアプリケーションの可用性を監視します。このソリューションは vRealize Operations Manager とともにインストールされます。

詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<https://www.vmware.com/jp/products>

製品仕様とシステム要件の詳細については、次の Web サイトから、VMware vRealize Operations のドキュメントを参照してください。

<https://www.vmware.com/jp/products/vrealize-operations>



VMware株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア 13F www.vmware.com/jp

Copyright © 2019 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている1件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. およびその子会社の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。アイテム No. : 180651wf-fy19q3-sddc-launch-ds-vrops-ibm-a4
E:2018/10 J:2019/01